

特別支援教育に関する講演会

「学びの困難さに応じた指導支援の工夫の考え方」

香川大学教育学部 教授 武藏 博文氏



◆◆ 武藏 博文氏のプロフィール ◆◆◆

東京生まれ。筑波大学附属大塚養護学校教諭、富山大学教育学部助教授を経て、現任校に平成19年10月より勤務。専門分野は発達障害のある方の地域生活支援および学習支援。日本教育心理学会、日本LD学会等、数多くの学会に所属。

【主な著書】

「発達障害のある子とお母さん・先生のための思いっきり支援ツール ポジティブにいこう！」
(エンパワメント研究所)

「楽しく学べる怒りと不安のマネジメント：カンジョウレンジャー&カイケツロボ」
(エンパワメント研究所)

「エッセンシャル特別支援教育コーディネーター」
(大学教育出版：第2版)

8月9日(水)、ライフパーク倉敷 大ホールで「特別支援教育に関する講演会」を開催しました。会場には教職員、福祉関係者、保護者等のおよそ400人が集まりました。障がいのある子どもたちの指導・支援の具体について、武藏先生は動画や写真等を使って大変分かりやすいお話をしてくださいました。

○ 障がい者支援・特別支援教育が目指す方向性

- ① 主体性を育む。(サポートブック、チャレンジ日記等)
- ② 「できること」に目を向け、長所で短所を補う。
- ③ 肯定的な成功体験を積み上げる。
- ④ 成功体験の中で、自分の障がいを肯定的に理解する。
- ⑤ 自分からHELPがでて、支援を受けて生活する。

○ 「平等」と「公正」について

- ① 平等とは同一であること、子ども全員に同じもの・機会を与えること。公正とは、子どもが同じ機会に利用できるように確保すること。
- ② 最初に公正が担保されて、初めて平等を得ることができる。

○ 自ら気分の安定を図るために

- ① 感情に気づき、理解を深める。
(快体験を貯める、自分の感情を言葉で表現する)
- ② 感情を調整する方法を学んで、練習する。
(運動、人に話す、楽しいことを思い出す)
- ③ トラブルに対処する方法を学んで練習する。
(安心できる場所に移動する、信頼できる人に報告する)



○ 自ら取り組むために

- ① 新たな習得を認めて褒める。
- ② 習熟し定着を図る。
- ③ 評価活動に必要な技能を身に付ける。
- ④ 自分のことは自分で管理する。
- ⑤ 課題場面で、自ら問題へ対応する。

○ やる気を伸ばすポイント

- ① 子どもが自分で選択する。
- ② 生活の中の自然な褒めを探す。
- ③ 試みる行動を認めて褒める。
- ④ できる課題と新しい課題を混ぜる。
- ⑤ 生活・課題に変化をつける。

○ 子どものための支援の工夫

- ① 環境を整える。(周囲の人との共通理解、物理的な配置、援助の仕方)
- ② 手掛かりを工夫する。(行う場面と活動が結び付く、見通しをもつ、順序が分かる)
- ③ 本人のやり方を考える。(行いやすい仕方、道具を使いこなす、思い出して行う)
- ④ 褒め方を工夫する。(形に残す、本人の好みに合う、周囲から評価を得られる)

☆☆ 感想 ☆☆

- ・ 自分から主体的に動くことができる子どもにするには、記録を書いたり自己評価をしたりするなど、日々の積み重ねが大切なのだと思いました。子どもたちと接する中で、自己管理能力や自己解決能力を育てることができるよう日々の記録や振り返りの場を設定していきたいと思いました。
- ・ 子ども一人ひとりの学びの困難さに応じていかに支援していくかということについて、具体例を挙げながら説明していただき、分かりやすかったです。支援の基礎・基本を確実にし、今後にかかしていきたいです。



教育センター 夏の研修 2017

みなさん、おつかれさまでした。



2年目研修・3年目研修

学習指導と評価社会(小2年目)

教科指導の進め方

模擬授業を通して、授業の流しを教えていただいたので、今日教えていただいたところを早く授業したいと思いました。社会科では、子どもたちが調べることが大切で、どの学年にも必要なことだと分かりました。

「子どもが主役の学校」をつくっていくために、あらゆる関係機関の方たちが力を尽くしてくださっていることを感じました。発達障がいのある子どもは困っていても、それを発信できずにいるかもしれないので、一人ひとりに合った支援方法を考えていきたいです。

同期のみんながすごく考えて授業をしているのが分かり、刺激になりました。子どもの実態を考えながら、深めるところでしっかり深めることの大切さを、みんなの発表を聞いて改めて感じました。

中堅教諭資質向上研修

教科指導の進め方

2年目研とのコラボ研修



学習指導案をもとに模擬授業を行い、学習指導案に盛り込むべき点など改善点を検討しました。その後、実際に実験を行ってみて授業で指示すべき注意点を確認しました。教科書通りの方法では、うまくいかなかったり、同じ実験でも先生によって様々なやり方をされていたりと新しい発見がたくさんありました。

2年目研の先生方が意図をもって学習指導案を作られていてすごいと思いました。その中で模擬授業は緊張しましたが、指導していただいたことを取り入れて行うことができました。このような機会は、本当に自分にとって勉強になり、また同じ仲間と意見を言い合えることも大変よかったです。

幼児教育研修会

園長研修会

教諭・助教諭研修会

人格形成にとって非常に大切な時期の子どもたち。園にいる一人ひとりの子どもたちが、「大切にされている」と思い、自信に満ちて輝いていられる幼稚園にしなければ!と改めて思いました。そのためには、園長自身がボジティブに自分らしく生きようと思いました。

事例を交えたお話をさせていただき、実際に子どもの姿を思い浮かべながら考えることができました。「楽しくなければ保育ではない。」という言葉が胸に響いて、確かにそうだなと感じました。日々、大変なことはたくさんありますが、まずは教師がめいっぱい楽しんで、子どもに伝染させていく気持ちで保育に取り組んでいきたいと思えます。

学校カウンセリング研修

15年経験者研修

企業体験研修

カウンセリングの基本は、「合わせて、ずらす。」「できたところをコンプリメントする。」ということが分かりました。実践を通して具体的に学ぶことができました。

この体験を通して一番強く感じたことは、店長をはじめ従業員の方たちの仕事に対する意識の高さです。開店前、朝礼での店長の話、そして従業員全員での身だしなみやチェックや声出しなどは、チームとして士気を高める大切な時間だと思いました。開店すると、常にきびきびと動き、お客様に笑顔ではきはきと対応する。そのような積み重ねがお店の売り上げを支えていくのだと思いました。(企業体験)



初任者研修

今年度は95名で研修を行っています。

宿泊研修



「体験したことは知恵となる」という言葉が身に染みて分かりました。体験を進めていくと、うまくいかないことが多々出てきます。自分たちで模索することで、考える力とチームで解決する力が身に付いていくのだということを実感しました。

異校種の先生方と教育課題について話し合いを重ねる機会はないかなかなかないので、とても貴重な時間となり、学びも深まりました。まだまだ議論が尽きなかったです。話し合い、まとめて発表するのは、主体的に学ぶ際に効果的であることを身をもって再確認できました。

トイレを磨き心を磨く研修

今年も、宿泊研修最終日に少年自然の家で行いました！



- ・ 平凡なことを徹底してやり続ければ、やがて非凡な成果が得られること、掃除を通じて自分の心も磨かれることを学びました。ふだんは気にならないところまで細かく掃除し、終わってトイレを見たとき、「これがきれいということか。」と心から思いました。
- ・ 掃除を終えたときにはすがすがしい気持ちになり、大きな達成感がありました。掃除をして感動したのは初めてです。一つのことを一生懸命にしてみないと感じ取ることができなかったこの気持ちを、ぜひ子どもたちにも感じてほしいです。

発達障がい児の理解と支援



「目からうろこ」の連続でした。子どもへの理解が乏しく、適切な声掛けや支援ができていなかったことなど反省ばかりです。「あの時のあの行動には、こんな訳があったのだ。」と気付けたのは大きなことだと思います。2学期が始まるまでに、もっと支援に対する理解を深めたいです。

生徒指導を視点とした学級経営



あいさつで子どものことが分かるというお話に共感しました。「見る」のように、「手」をとり「目」を見てしっかりと話をしていきたいです。「先生は夢職業」、この言葉は私の支えとなりそうです。今日の講義で、早く子どもに会いたいと思いました。

学習指導と評価(小)(英語)

学びのキーワード



繰り返し、協同授業
学級担任の役割
新学習指導要領、評価
楽しむ、リズム

道徳教育の進め方(小)

学びのキーワード



よりよく生きる
自己の生き方、評価
資料の構図、道徳的価値
多角的・多面的に考える

アンガーマネジメントの理論と実際(中)

学びのキーワード



べきのすり合わせ
怒りの上手な伝え方
6秒ルール
怒りのコップ

学習指導と評価(中)(指導技術)

学びのキーワード



めあて、アウトプット
主体的、行動目標
まとめと振り返り
「できた」で終わる授業

☆恵まれた環境の中で
のびのびと

☆☆ 倉敷教室 ☆☆

倉敷ふれあい教室倉敷教室は、くらしきシティープラザ西ビルの8階にあります。窓からは倉敷市内が一望できます。倉敷駅に隣接しており、交通の便のとても良い場所です。周辺には、みらい公園、美観地区、倉敷美術館、自然史博物館、北児童センターなど多くの文化施設や教育施設があり、恵まれた環境の中で様々な活動に取り組んでいます。

「なかよし活動」では折り紙やミサンガなどの創作活動、書道や英語（NET）などの学習活動、その他にもスポーツやお茶、映画鑑賞なども行っています。

地域に出かける活動としては、春と秋に行く遠足、倉敷幼稚園での交流会、倉敷公民館での調理実習、倉敷図書館での読書、阿智神社の年中行事への参加などがあります。

また、ボランティア活動として地域のゴミ拾いも行っています。「スタディー」の時間は机に向かい、それぞれ自分に合った学習内容に一生懸命取り組んでいます。

倉敷教室の今年度の目標である「勇氣」をキーワードに、一人ひとり苦手な事にも勇氣をもってチャレンジしています。「やってみたらできた」という達成感や「やればできるんだ」という自信がもてるよう、日々いろいろな活動に取り組んでいます。



☆豊かな自然と歴史
に囲まれて・・・

☆☆ 玉島教室 ☆☆



倉敷ふれあい教室玉島教室は、旧玉島児童館にあります。周辺には、良寛さんゆかりの円通寺や玉島港があり、自然に囲まれた、ゆったりした空間で、のびのびと活動しています。

現在教室には、中学校2年生と中学校3年生の8名が在籍していて、3名の指導員とアットホームな雰囲気の中で活動しています。フリータイムには、みんなでUNOやトランプゲームをしたり、ミニテニスや卓球をしたりして楽しんでいます。

1日の活動の流れとしては、みんなと一緒に取り組む「なかよし」活動が午前中にあり、一人ひとりの進度にあわせた「スタディ」が午前と午後にあります。「なかよし」では、創作活動、スポーツ、調理実習など様々な体験に取り組んでいます。また、定期的にボランティアの方々から季節の花の生け方やお茶のたて方を学んだり、合唱やハンドベルを使って音楽を楽しんだりもしています。

7月に行われた宿泊自然学習では、暑い中、最後まで諦めずに全員揃ってウォークラリーでゴールすることができたり、皆で協力して美味しいカレーを作ることができたりと、子どもたちは、ひとまわり大きく成長することができました。

日々の活動の中で、多くの方とふれあい、いろいろなことにチャレンジし、やり遂げた後の“やればできる”という小さな達成感を積み重ねていくことを大切にしています。



みんな、がんばっています。

倉敷教育センター
マスコット「サミー」

